

### 第三十八回入学式 式辞

朝夕の肌寒さもようやく去り、新入生の皆さんを祝福するかのよう、ここ墨江丘の地にも、桜の花があでやかに咲き誇っています。色鮮やかな花々に囲まれ、春の息吹が満ち溢れる今日の良き日に入学式を迎えられた新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

また、本日は、ご来賓の皆様には、大変お忙しい中、本校入学式にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申しあげます。

一八五名の新入生の皆さん、あらためまして入学おめでとうございます。皆さんの入学を、二年生、三年生、先生方、学校職員一同、心待ちにしていました。皆さんは今日から墨江丘中学校の生徒です、仲間です。

みなさんの顔を見ていますと「今日から、新しい気持ちで頑張るぞ」という意気込みを大いに感じとることができます。これから始まる中学校生活に多少の不安を感じつつも、勉強や部活動などに頑張ろうと、夢や希望に満ち溢れていることと思います。今のその気持ちを大切に、これからの三年間、自分の力や個性を十分に伸ばしてほしいと思います。

さて、入学にあたって、皆さんが持っている力をのばしてもらうために、また、この墨江丘中学校の生徒として、知っておいてほしい大切なことを三つお話しします。

その第一は、校訓にもある「友愛・協調」です。皆さんには、いろいろな人との出会いを大切にしてほしいということです。新しいクラスにはそれぞれ異なった個性を持った仲間が違う小学校からもやって来ます。また、部活動ではクラスや学年を超えて同級生や上級生と接することになります。授業では教科ごとに先生も変わります。また学校には事務室や給食室、管理作業員室にも職員の方々がおられます。学校だけではありません。この墨江丘の地域の方々の多くが皆さんを暖かく見守ってくださっています。もちろん、小学校の先生方も応援して下さいます。

このように、皆さんは多くの人と出会い、接し、支えられています。墨江丘中学のモットーである、元気でさわやかな挨拶と感謝の心を忘れず、みなさんには、中学校でのこの新しい出会いや人のつながりを大切に考えて欲しいと思っています。

二つ目は、みなさんには「学ぶこと」について考えて欲しいと思っています。皆さんは中学生ですから将来に夢を持たなければなりません。夢を持つには、知識や知恵が必要です。そのために中学校生活では学ぶということを大切にしたいのです。ただ学ぶといっても、教科の勉強ばかりではありません。実は学校というところは学ぶということには無駄なことは一つもない場所なのです。先生から聞く話、友達との会話、まわりを見ること、給食を食べること、そう、すべてが学びなのです。ちょうど皆さんのお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんなど家族の方の一言一言の会話がすべて将来の役に立つよう

に、学校でも、すべてのやることが自分のためになるのです。もちろん、うまくいくことも、いかないことも。そんな考え方も知っておいて欲しいのです。

最後は、墨江丘中学の生徒であることに誇りを持ってください。みなさんの先輩にあたる2年生や3年生は、クラブや勉強にとっても頑張っています。挨拶も大きな声でしてくれます。そして、地域の方々も、この墨江、清水丘、住吉を誇りに思われ、そこにある墨江丘中学をとっても大切にしてくださっています。

このように、墨江丘中学校は、素晴らしく恵まれた環境にあり、私もそのような子どもたちや地域に囲まれていることを誇りに思っています。ぜひ皆さんも自分の学校に誇りを持ってください。

以上、短く三つのことをお話しました。これから中学生として、このような考え方も知って、立派に成長して欲しいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。本日より皆様のご期待と信頼に応えられますよう教職員一同、三年後の進路を見据えながら、全力で教育に取り組んで参ります。中学生という時期は、心と体、考え方が人生の中でも最も成長・発達する時期であると言われています。ただ急激な成長期であるゆえ、子どもたち自身が不安な気持ちになったり、不安定になったりすることもあります。そんな折には遠慮なく担任や学校にご相談ください。家庭と学校、そして地域の皆様のご支援をいただきながら、一人一人の生徒の皆さんの可能性を引き出し、伸ばしていきたいと考えております。どうか、本校教育の推進に深いご理解とご支援を賜りますよ

う心からお願い申し上げます。

それでは、新入生のみなさん、笑顔と元気と明るい挨拶で、楽しい学校生活  
にしていきましょう。以上をもちまして、入学式学校長式辞といたします。

平成二十七年四月三日

大阪市立墨江丘中学校

学校長 渡邊 雅彦